

# 五月例会御案内 (平成十九年)

## 財団法人 協和協会

△会長 塩川正十郎

### ○御案内

五月三十日(水) 正午～二時半 参議院議員会館一階 第一会議室 (第五六七回)

講題 現代生活にも活かそう「孫子の兵法」

講師 長尾剛先生(ノンフィクション作家)

現代の厳しい社会生活・企業活動において、いま、「孫子の兵法」が、高く評価されており、孫子の兵法は中国において二五〇〇年も前に書かれたものですが、古くから日本にも伝えられ、源義家や、今、話題の大河ドラマ「風林火山」に登場する武田信玄も愛読・活用したと言われております。本来は、戦のための兵法書ですが、いまの中国共産党指導部が外交面でも活用しており、さらには、アメリカ陸軍でも参考書として採用しているとのこと。たとえば、この書にある「彼を知り己を知れば百戦して殆うからず」などは、企業戦士など現代においても参考になり、その他、人生一般に通じる多くの知恵を含んでおります。そこで、今回は、以前から、古典を分かりやすく解説することで知られているノンフィクション作家・長尾剛先生に御解説をいただくことにいたしました。皆さまのこれからの人生にとっても、御参考になると思いますので、奮って御参加下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。(清原記)

▽当日の会費 四千元(昼食の準備もあり、前日までに欠の御連絡をいただきました)

### □御報告

去る四月二十三日の月例会は、小泉内閣で主要閣僚を歴任され、安倍政権では自民党の政務調査会長として、日本の政策運営の中心におられる中川昭一先生に、「日本を活性化する各種

政策について」御解説をいただきました。その要旨は、日本は二十世紀末のデフレスパイラル、不良債権処理などで、「失われた十年」となり、これを清算するため、二十一世紀における小泉政権の改革は大層意義があり、第一段ロケットであった。安倍政権はそれに次ぐ改革のための第二段ロケットである。そして、すでに、教育基本法改正や防衛庁の省昇格を実現し、憲法改正に必要な国民投票法も近く成立する運びとなっているし、教育改革三法の審議も進めつつある。安全保障については、北朝鮮の核ミサイルへの対応は、日米同盟を一層緊密化する必要がある。また、エネルギー安保としては原発はもちろん、石油に代わる代替エネルギーの開発が必要である。また、食糧安保としては国内の自給率を高める必要がある。なお、中国が目覚ましい経済発展をしているが、環境破壊もひどいものがある。この点、日本は環境技術、新エネルギー技術の大国なので、中国初め世界に貢献してゆきたいと述べられ、一同、感銘しました。

▽当(財)協和協会は、「各界の志ある指導者・経験者が、党派・利害・打算を超えて、真に国家的見地から、我が国立国の基礎をなす諸課題を検討して、世の中に貢献しよう」との趣旨にて、昭和四十九年、岸信介元総理によって創設された財団。第二代会長は福田赳夫元総理。第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、そして、平成十五年十月七日、塩川正十郎元財務大臣が会長に就任しております。なお、平成十四年夏から、理事長に、半田晴久が就任しております。会員は、政・財・官・学・民各界の有志がバランスよく集まっております。国会議員・同秘書は随時参加自由。この月例講話のほか、内部には、十五ほどの専門的な部会・委員会があり、これまでに、政府へ提出した意見書・要請書は、百二十四本に達しております。

事務局電話(03) 3581-1192 専務理事兼事務局長・清原淳平、重田、新堀、高津

◎添付のハガキ、または、FAXにて、前日までに、頭記月例会への御返信をいただきました。

▼事務局FAX(03) 3507-8587

御芳名

貴方様のFAX番号

五月三十日(水) 出 欠 (いずれかに○印 — 昼食弁当を用意するためにも)